



## コール

---

- コールの発信, 1 ページ
- コールへの応答, 6 ページ
- 音声のミュート, 10 ページ
- コールの保留 (Hold Calls) , 10 ページ
- コールの転送, 14 ページ
- 通話の転送, 14 ページ
- 会議コールとミーティング, 15 ページ
- インターコム コール, 18 ページ
- コールの監視と録音, 19 ページ
- 優先コール, 20 ページ
- 複数の回線, 22 ページ
- モバイル コネクトを使用した通話, 25 ページ

## コールの発信

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同様に機能します。ただし、コールの発信がより簡単になっています。


## コールの発信

### 手順

番号を入力して、ハンドセットを持ち上げます。


## スピーカーフォンを使用したコールの発信

### 手順

- 
- ステップ1 キーパッドを使用して番号を入力します。
  - ステップ2 [スピーカーフォン (speakerphone) ] ボタン  を押します。
- 

## ヘッドセットを使用したコールの発信

### 手順

- 
- ステップ1 ヘッドセットを接続します。
  - ステップ2 キーパッドを使用して番号を入力します。
  - ステップ3 [ヘッドセット (headset) ] ボタン  を押します。
- 

## URI ダイヤリングを使用したコールの発信

URI ダイヤリングを使用してコールを発信できます。この方法では、電話番号として `bob@example.com` などの SIP アドレスが使用されます。SIP アドレスを入力するときに、キーを押す間隔を 10 秒以上空けないでください。入力のない状態が 10 秒続くと、電話機は完全なアドレスが入力されたと見なし、コールを発信しようとします。

ドメイン内部でコールを発信する場合は、SIP アドレスの `@example.com` の部分を含める必要がありません。ドメイン外部でコールを発信する場合は、ドメイン名を含む SIP アドレス全体を入力します。SIP アドレスの最大長は 254 文字です。

### 手順

SIP アドレスを入力して、ハンドセットを持ち上げます。

## 番号をリダイヤルする

最後にダイヤルした電話番号を呼び出すことができます。

## 手順

- 
- ステップ 1** (任意) 回線を選択します。
- ステップ 2** [リダイヤル (Redial) ]を押します。
- 

## 短縮ダイヤル

頻繁に電話をかける人物の番号をすばやくダイヤルするためのボタンまたはコードを割り当てることができます。電話機で短縮ダイヤル機能を使用する前に、セルフケアポータルで短縮ダイヤルをセットアップします。

セットアップに応じて、電話機は次の機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤルボタン：短縮ダイヤル用にセットアップされた1つ以上の回線ボタンから電話番号をダイヤルします。
- 短縮ダイヤルコード：コードから電話番号をダイヤルします（短縮ダイヤルと呼ばれることもあります）。

### 関連トピック


- [セルフケアポータル](#)
- [短縮ダイヤル番号](#)

## 短縮ダイヤルボタンを使用したコールの発信

### はじめる前に

セルフケアポータルで短縮ダイヤルコードをセットアップします。

### 手順

短縮ダイヤルボタン  を押します。

### 関連トピック

- [セルフケアポータル](#)

## 短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信

### はじめる前に

セルフケアポータルで短縮ダイヤルコードをセットアップします。

### 手順

[短縮ダイヤル (Speed Dial) ] コードを入力し、[短縮ダイヤル (Speed Dial) ] を押します。

### 関連トピック

[セルフ ケア ポータル](#)

## ファスト ダイヤル ボタンを使用したコールの発信

### はじめる前に

パーソナルディレクトリでファスト ダイヤル コードをセットアップする必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1 [ファストダイヤル (Fast Dial) ] を押します。
  - ステップ 2 [パーソナルディレクトリ (Personal Directory) ] にログインします。
  - ステップ 3 [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials) ] を選択します。
  - ステップ 4 ファスト ダイヤル コードを選択して、[ダイヤル (Dial) ] ソフトキーを押します。
- 

### 関連トピック

[ファストダイヤルコードの連絡先への割り当て](#)

## 国際番号のダイヤル (Dial an International Number)

電話番号の先頭にプラス (+) 記号を付けることによって国際電話をダイヤルすることができます。

### 手順

- 
- ステップ 1 アスタリスク (\*) を 1 秒以上押したままにします。  
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。 トーンが変化して \* が + 記号に変わったことを示します。 オフフックの場合、トーンが流れます。
  - ステップ 2 番号を発信します。  
最後のキーを押してから 10 秒後に、電話機が番号をダイヤルします。
-

## 連絡先が対応可能な場合の通知の受信

誰かに電話をかけてその回線が使用中または相手が電話に出ない場合に、相手に対応可能になったら特殊な呼出音で知らせるように設定することができます。

### 手順

- ステップ1 話中音または呼出音が聞こえている間に、[コールバック (Callback)] を押します。
- ステップ2 確認画面を終了するには、[終了 (Exit)] を押します。
- ステップ3 相手に対応可能になったことを知らせる呼出音が鳴ったら、[発信 (Call)] を押して電話をかけ直します。

## 請求コードまたは承認コードが必要なコール

電話番号をダイヤルした後に、管理者から請求コードと承認コードのどちらか（またはその両方）の入力を要求されることがあります。クライアント識別コードと呼ばれる請求コードは、アカウントリングまたは請求に使用されます。強制承認コードと呼ばれる承認コードは、特定の電話番号へのアクセスを制御します。

請求コードが要求された場合は、電話機に [クライアント識別コードを入力してください (Enter Client Matter Code)] と表示され、ダイヤルした番号が “\*\*\*\*\*” に変更され、特殊なトーンが流れます。

承認コードが要求された場合は、電話機に [承認コードを入力してください (Enter Authorization Code)] と表示され、ダイヤルした番号が “\*\*\*\*\*” に変更され、特殊なトーンが流れます。セキュリティ上の理由から、入力した番号の代わりに “\*” が電話機に表示されます。

請求コードと承認コードが両方が要求される場合は、先に承認コードの入力が要求されます。その後で、請求コードの入力が要求されます。

### 関連トピック

[短縮ダイヤル番号](#)

## 安全なコール

管理者は、コールを社外の人物による改ざんから保護するための手順を実行することができます。通話中に電話機に錠前アイコンが表示された場合は、管理者が安全に通話できることを保証する手順を実行したことを意味します。電話機の設定によっては、誰かに電話をかける前にサインインしないとハンドセットからセキュリティ トーンが流れる場合があります。

## コールへの応答

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同様に機能します。ただし、コールへの応答がより簡単になっています。

## コールに応答する

### 手順

オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。

## コール待機への応答

アクティブ コール中にコール ウェイティングが発生すると、ビープ音が1 回流れて回線ボタンがオレンジ色に点滅します。

Cisco IP Phone 7811 ではこの機能をサポートしていません。

### 手順

- 
- ステップ 1** [回線ボタン ( line button ) ] を押す。
- ステップ 2** (任意) 複数のコール ウェイティングが発生した場合は、着信コールを選択します。
- 

## コールの拒否

アクティブコールまたは呼び出し中のコールをボイスメールシステムまたは所定の電話番号に送信することができます。呼び出し中のコールをサイレントにすることもできます。

### 手順

次のいずれかの操作を実行して、コールを拒否します。

- 着信コールを強調表示して、[拒否 (Decline) ] を押します。
- [音量 (Volume) ] を下に 1 回押して着信 (呼び出し中) コールをサイレントにしてから、着信コールをボイスメールまたは所定の電話番号に転送します。

## サイレントをオンにする

電話に出たくない場合は、サイレント（DND）を使用して電話機をサイレントにし、着信コール通知を無視します。

DND を有効にすると、着信コールがボイスメールなどの別の番号（セットアップされている場合）に転送されます。

DND を有効にすると、電話機上のすべての回線に影響します。ただし、DND がオンになっていても、インターコム コールと緊急コールは必ず受信されます。

### 手順

- 
- ステップ1 [サイレント（Do not disturb）] を押すと、DND がオンになります。
  - ステップ2 もう一度、[サイレント（Do not disturb）] を押すと、DND がオフになります。
- 

### 関連トピック

[セルフ ケア ポータル](#)

## 同僚の電話機への応答（コール ピックアップ）

コール処理タスクを同僚と共有している場合は、同僚の電話機が鳴った場合にそのコールに応答することができます。最初に、管理者が利用者を1つ以上のコールグループに割り当てておく必要があります。

### グループ内のコールへの応答（ピックアップ）

コールピックアップグループ内の別の電話機で呼出音が鳴っているコールに応答できます。ピックアップ対象のコールが複数存在する場合は、呼出音が最も長く鳴っているコールに応答します。

### 手順

- 
- ステップ1 （任意） [回線ボタン（line button）] を押す。
  - ステップ2 [ピックアップ（PickUp）] を押して、ピックアップグループ内の着信コールを電話機に転送します。
  - ステップ3 呼出音が鳴ったら、[応答（Answer）] を押してコールに接続します。
-

## 別のグループからのコールへの応答（グループ ピックアップ）

グループ ピックアップを使用すれば、コール ピックアップ グループ以外の電話機でコールに応答することができます。グループ ピックアップ番号を使用してコールをピックアップすることも、鳴っている電話回線の番号を使用することもできます。

### 手順

- 
- ステップ 1 (任意) [回線ボタン (line button)] を押す。
  - ステップ 2 [グループピックアップ (Group PickUp)] を押します。
  - ステップ 3 次のいずれか 1 つの処理を実行します。
    - ピックアップしたいコールがある電話回線の番号を入力します。  
たとえば、コールが回線 12345 で鳴っている場合は、「12345」を入力します。
    - グループ ピックアップ番号を入力します。
  - ステップ 4 呼出音が鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。
- 

## 関連グループからのコールへの応答（その他のピックアップ）

### 手順

- 
- ステップ 1 (任意) 回線ボタンを押します。
  - ステップ 2 [ピックアップ (PickUp)] を押して、ピックアップ グループ内または電話機に関連付けられたグループ内のコールに応答します。
  - ステップ 3 呼出音が鳴ったら、[応答 (Answer)] を押してコールに接続します。
- 

## ハント グループ内のコールへの応答

ハント グループは、大量の着信コールを受ける組織のコール負荷を分散するために使用できません。

管理者が一連の電話番号を使用してハント グループをセットアップします。ハント グループ内の最初の電話番号が使用中だった場合は、グループ内で次に使用可能な電話番号が選択されます。システムがコールをその電話機に発信します。

ハント グループのメンバーは、コールを受けるときにハント グループにサインインします。電話機でコールが鳴らないようにする場合は、グループからサインアウトします。



### はじめる前に

ハン ト グル ー プ コ ー ル を 受 け る に は 、 ハ ン ト グ ル ー プ に サ イ ン イ ン す る 必 要 が あ り ま す 。

### 手 順

電 話 機 で ハ ン ト グ ル ー プ コ ー ル が 鳴 っ た ら 、 そ の コ ー ル に 応 答 し ま す 。

## ハン ト グル ー プ へ の ロ グ イ ン と ハ ン ト グル ー プ か ら の ロ グ ア ウ ト

ハン ト グル ー プ か ら ロ グ ア ウ ト し て も 、 ダ イ レ ク ト コ ー ル は 引 き 続 き 電 話 機 に 着 信 し ま す 。

### 手 順

---

**ス テ ッ プ 1** [ハン ト グル ー プ ( Hunt Group ) ] を 押 し て ロ グ イ ン し ま す 。

**ス テ ッ プ 2** [ハン ト グル ー プ ( Hunt Group ) ] を も う 一 度 押 し て ロ グ ア ウ ト し ま す 。

---

## ハン ト グル ー プ 内 の 通 話 キ ュ ー の 表 示

キ ュ ー の 統 計 情 報 を 使 用 し て 、 ハ ン ト グル ー プ キ ュ ー の ス テ ー タ ス を 確 認 す る こ と が で き ま す 。

キ ュ ー ス テ ー タ ス 画 面 に は 次 の 情 報 が 表 示 さ れ ま す 。

- ハ ン ト グル ー プ の キ ュ ー パ タ ー ン
- 各 ハ ン ト グル ー プ の キ ュ ー に 入 っ て い る 発 信 者 数
- 最 大 待 機 時 間

### 手 順

---

**ス テ ッ プ 1** [キ ュ ー の ス テ ー タ ス ( Queue Status ) ] を 押 し ま す 。

**ス テ ッ プ 2** [更 新 ( Update ) ] を 押 し て 統 計 情 報 を 更 新 し ま す 。

**ス テ ッ プ 3** [終 了 ( Exit ) ] を 押 し ま す 。

---

## コ ー ル へ の 自 動 応 答


電 話 機 が コ ー ル に 自 動 的 に 応 答 す る よ う に セ ッ ト ア ッ プ さ れ て い る 場 合 は 、 電 話 機 の 呼 出 音 が 鳴 っ た 際 に 特 に 何 も す る 必 要 が あ り ま せ ン 。 1 回 の 呼 出 音 の 後 に 、 ス ピ ー カ フ ォ ン を 使 用 し て コ ー ル に 自 動 的 に 接 続 さ れ ま す 。

ただし、ヘッドセットを使用してコールに応答する場合は、それを最初にセットアップしておく必要があります。



(注) Cisco IP Phone 7811 は [ヘッドセット (Headset)] をサポートしていません。

#### 手順

- ステップ1 ヘッドセットを電話機に接続します。
- ステップ2 [ヘッドセット (Headset)] ボタン  が点灯していることを確認します。
- ステップ3 電話機が自動的に着信コールに応答したら、ヘッドセットを使用して発信者に話しかけるだけです。ヘッドセットを使用したくない場合は、[ヘッドセット (Headset)] ボタンを押してそれをオフにし、代わりにハンドセットまたはスピーカフォンを使用します。

## 不審なコールのトレース

不要なまたは迷惑なコールを受信した場合は、迷惑呼 ID (MCID) を使用して管理者に通知します。電話機は、コールに関する情報を含むサイレント通知メッセージを管理者に送信します。

#### 手順

[迷惑呼ID (MCID)] を押します。

## 音声のミュート

#### 手順


- ステップ1 [ミュート (Mute)]  を押します。
- ステップ2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。

## コールの保留 (Hold Calls)

アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを受けたりすることができます。

## 通話を保留にする

### 手順

- 
- ステップ1 [保留 (Hold) ]ボタン  を押します。
- ステップ2 コールを保留から再開するには、もう一度、[保留 (Hold) ]を押します。
- 

## 長すぎる保留中のコールへの応答

コールが保留中のままになっている場合は、通知を受け取ることができます。この通知は、着信コール通知に似ており、次の現象が見られます。

- 1 回の呼出音（一定間隔で繰り返す）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージインジケータ
- 電話スクリーン上の [視覚的な通知 (Visual notification) ]

### 手順

オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは [応答 (Answer) ] を押して、保留中のコールを復帰します。

## アクティブコールと保留コールの切り替え

### 手順

保留中のコールの [切り替え (Swap) ] を押します。

## Cisco IP Phone 7811 上でのアクティブコールと保留中のコールの切り替え

Cisco IP Phone 7811 には [回線ボタン (line button) ] はありません。保留中のコールとアクティブコールがある場合は、[切り替え (Swap) ] ソフトキーが表示されます。3 つ以上のコールがある場合は、[発信 (Calls) ] ソフトキーが表示されます。

## 手順

[切り替え (Swap)] または [発信 (Calls)] を押します。

# コールパーク

電話機を使ってコールをパーク (一時保存) することができます。これにより、別の電話機 (同僚のデスクや会議室の電話機など) からのコールを受けることができます。

コールをパークするには、パークとダイレクト コールパークの2つの方法があります。電話機で使用可能なコールパークの種類は1つだけです。

コールをパークしている時間が長すぎると、アラートトーンが流れます。コールに応答することも、別の電話機からコールを受けることもできます。所定の時間内にコールに応答しなかった場合は、管理者の設定に従ってコールは別の宛先 (ボイスメールなど) にルーティングされます。

## コールパークを使用したコールの保留

自分の電話機で応答したアクティブ コールをパークしてから、コール制御システム内の別の電話機を使用してそのコールを受けることができます。

コールパーク番号でパークできるコールは1つのみです。

### はじめる前に

コールをアクティブにする必要があります。

## 手順

- 
- ステップ 1** [パーク (Park)] を押してから、電話を切ります。  
システムがコールを [パーク (Park)] した番号が電話機に表示されます。パークされたコールは保留されています。[復帰 (Resume)] を押すと、電話機でそのコールを再開できます。
- ステップ 2** (任意) コールに応答する必要のある人物にパークした番号を連絡します。
- 

## コールパークを使用した保留中のコールの取得

ネットワーク上のどこからでもパークされたコールをピックアップすることができます。

### はじめる前に

コールのパークに使用された番号が必要です。

### 手順

コールがパークされたときの番号を入力してコールを取得します。

## 補助付きダイレクトコールパークを使用したコールの保留

専用のコールパーク番号を使用してアクティブコールをパークして受けることができます。補助付きダイレクトコールパークを使用する場合は、ボタンを使用してアクティブコールをパークします。管理者は、そのボタンを短縮ダイヤル回線としてセットアップします。この種のダイレクトコールでは、回線ステータスインジケータを使用して回線のステータス（使用中またはアイドル）をモニタできます。

### 手順

通話中に [BLFダイレクトコールパーク (BLF Directed Call Park)] を押すと、補助付きダイレクトコールパーク用のアイドル回線ステータスインジケータが表示されます。

## 補助付きダイレクトコールパークを使用した保留中のコールの取得

### 手順

[BLFダイレクトコールパーク (BLF Directed Call Park)] を押します。

## 手動ダイレクトコールパークを使用したコールの保留

専用のコールパーク番号を使用してアクティブコールをパークして受けることができます。手動ダイレクトコールパークを使用して、管理者がセットアップしたダイレクトコールパーク番号にアクティブコールを転送します。

### 手順

- 
- ステップ1 [転送 (Transfer)]  を押します。
  - ステップ2 ダイレクトコールパーク番号を入力します。
  - ステップ3 もう一度、[転送 (Transfer)] を押して、コールをパークします。
- 

## 手動ダイレクトコールパークを使用した保留中のコールの取得

パークされたコールを専用のコールパーク番号でピックアップすることができます。

### はじめる前に

ダイレクト コール パーク番号とパーク取得プレフィックスが必要です。

### 手順


- 
- ステップ 1** パーク取得プレフィックスをダイヤルします。  
**ステップ 2** ダイレクト コール番号をダイヤルします。
- 

## コールの転送

電話機上の任意の回線から別の番号にコールを転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールを転送するには、次の2つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機が使用中であったり、応答がないなどの特殊な状況にあるコールを転送します。

回線ラベル内の [不在転送 (Forward All) ]  アイコンを探して、コールが転送されたことを確認します。

### 手順

- 
- ステップ 1** すべてのコールを転送するアイドル回線で [不在転送 (Forward All) ] を押します。  
**ステップ 2** 電話機からダイヤルする場合とまったく同じようにコール転送ターゲット番号を入力するか、最近の通話のリストからエントリを選択します。
- 

### 関連トピック

[セルフ ケア ポータル](#)

## 通話の転送


アクティブ コールを別の人に転送することができます。

## 別の相手へのコールの転送

コールを転送する場合は、別の相手が応答するまで元のコールを残しておくことができます。これにより、電話を切る前に別の相手と個別に話す機会が得られます。別の相手と話す必要がない場合は、その相手が応答するのを待たずにコールを転送します。

電話を切る前に両方の発信者を切り替えてそれぞれと会話することもできます。

### 手順

- 
- ステップ1 保留中でないコールから、[転送 (Transfer)]  を押します。
  - ステップ2 別の相手の電話番号を入力します。
  - ステップ3 (任意) 別の相手が電話に出るまで待機します。
  - ステップ4 (任意) [切替 (Swap)] を押して保留中のコールに戻ります。
  - ステップ5 再度 [転送ボタン (Transfer)] を押します。
- 


## 転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。転送を行う前に、元のコールと転送するコールを切り替えることもできます。

### はじめる前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

### 手順

- 
- ステップ1 [転送 (Transfer)]  を押します。
  - ステップ2 [切替 (Swap)] を押して保留中のコールに戻ります。
  - ステップ3 [転送 (Transfer)] を押して転送を開始します。
- 


## 会議コールとミーティング

1回のコールで複数の相手と会話することができます。別の人物にダイヤルしてその人をコールに追加することができます。複数の電話回線を使用している場合は、2つの回線をまたいで2つのコールに参加できます。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。


## コールへの別のユーザの追加 (7811)

### 手順

- 
- ステップ 1** アクティブ コールから、[会議 (Conference) ]  を押します。
- ステップ 2** 次のいずれかの方法で別のユーザをコールに追加します。
- [発信 (Calls) ] を押して、保留中のコールを選択し、[はい (Yes) ] を押します。
  - 電話番号を入力して、[会議 (Conference) ] を押します。
- 

## コールへの別のユーザの追加 (7821、7841、7861)

### 手順

- 
- ステップ 1** アクティブ コールから、[会議 (Conference) ]  を押します。
- ステップ 2** 次のいずれかの方法で別のユーザをコールに追加します。
- 保留中のコールを選択して、[はい (Yes) ] を押します。
  - 電話番号を入力して、[会議 (Conference) ] を押します。
- 

## 会議を開始する前のコールの切り替え

相手を会議に追加する前にその相手と会話することができます。会議コールと他の相手とのコールを切り替えることもできます。

### 手順

- 
- ステップ 1** 新しいコール参加者にコールしますが、その参加者を会議には追加しないでください。コールが接続されるまで待機します。



**ステップ2** 参加者と会議の間で切り替えるには、[切替 (Swap)] を押します。

---

## 会議参加者の表示と削除

会議を開催したら、会議に参加した最新の 16 人の参加者の詳細を表示できます。参加者を削除することもできます。

### 手順

---

**ステップ1** 会議中に [詳細 (Details)] を押して、参加者のリストを表示します。

**ステップ2** (任意) 会議から参加者を削除するには、その参加者を強調表示して、[削除 (Remove)] を押します。

---

## 予定された会議コール (ミー トミー)

予定された時刻に会議コールを開始または参加することができます。

会議コールは、主催者がダイヤルインするまで開始せず、すべての参加者が電話を切った段階で終了します。主催者が電話を切っても、会議は自動的に終了しません。

### ミー トミー会議の開催

#### はじめる前に

管理者からミー トミー電話番号を取得して、会議の参加者にその番号を配布します。

#### 手順

---

**ステップ1** ハンドセットを持ち上げてダイヤルトーンを聞き、[ミー トミー (Meet Me)] を押します。

**ステップ2** ミー トミー電話番号をダイヤルします。

---

### ミー トミー会議への参加

会議の主催者がダイヤルインするまでミー トミー会議に参加することができません。話中音が流れている間は、主催者が会議にダイヤルインしていません。電話を切ってかけ直します。

## 手順

会議の主催者から提供されたミーティング電話番号をダイヤルします。

# インターコム コール

インターコム回線を使用して一方向のコールを発信または受信することができます。



(注) Cisco IP Phone 7811 はインターコムをサポートしていません。

インターコム コールを発信すると、受信者の電話機が自動的にミュートが有効な状態（ウィスパーモード）でコールに応答します。メッセージは受信者のスピーカフォン、ヘッドセット、またはハンドセット（いずれかのデバイスがアクティブになっている場合）を通してブロードキャストされます。

インターコム コールを受信すると、受信者は双方向オーディオ（接続モード）を開始して会話を継続できます。

## インターコム コールの発信

インターコム コールを発信すると、受信者がインターコムコールに出るまで電話機がウィスパーモードになります。ウィスパーモードでは、他の人はあなたの声を聞くことができますが、あなたは他の人の声を聞くことができません。アクティブコールがある場合、そのコールは保留されます。

## 手順

- ステップ 1 [インターコム (Intercom)] を押します。
- ステップ 2 (任意) [インターコム (Intercom)] コードを入力します。
- ステップ 3 インターコム アラート トーンが流れたら、話し始めてください。
- ステップ 4 コールを終了するには、[インターコム (Intercom)] を押します。

## インターコム コールへの応答

インターコム コールに応答して相手と話すことができます。

### はじめる前に

電話画面上的メッセージと可聴アラートを受信します。電話機がウィスパーモードでインターコム コールに応答します。

### 手順

- 
- ステップ 1** [インターコム (Intercom)] を押して接続モードに切り替える。[接続モード (connected mode)] では、インターコム発信者と会話ができます。
- ステップ 2** コールを終了するには、[インターコム (Intercom)] を押します。
- 

## コールの監視と録音

コールを監視して録音することができます。ただし、回線上に 3 人以上の人物（発信者、監察者、および着信者）が存在する必要があります。

監察者は、コールに応答し、会議コールを開始し、会話をモニタして録音します。


観察者が実行するタスクは次のとおりです。

- コールを [録音 (Record)] する。
- 最初の参加者のみの会議。他の参加者は必要に応じて人を追加します。
- コールを終了する。

観察者が電話を切ると、会議が終了します。

## 監視対象コールのセットアップ

### 手順

- 
- ステップ 1** 着信コールに応答します。  
コールの監視および録音が必要であるとシステムが判断した場合、[録音 (Record)] が表示されます。
- ステップ 2** [会議 (Conference)] ボタン  を押して、会議コールを開始します。
- ステップ 3** スーパーバイザ用の電話番号を入力して、[発信 (Call)] を押します。
- ステップ 4** スーパーバイザが応答したら、[会議 (Conference)] を押します。
- ステップ 5** コールを終了するには、[コールの終了 (End Call)] を押します。
-

## コールの録音

コールを録音することができます。コールの録音中は通知トーンが流れます。

### 手順

[録音 (Record) ] を押して、録音を開始または停止します。

## 優先コール

仕事中に、電話機を使用して緊急事態や危機的状況に対処しなければならない場合があります。非常に重要なコールを識別して、通常のコールよりも高い優先度を割り当てることができます。優先度の範囲はレベル 1 (低) ~レベル 5 (高) です。この優先度のシステムは、**Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)** と呼ばれています。





優先度は管理者がセットアップして、特殊なサインイン情報が必要かどうかを決定します。


高優先度コールが着信すると、電話画面に優先度レベルが表示され、そのコールがコールリストの一番上に表示されます。高優先度コールの着信時に電話中だった場合は、高優先度コールが現在のコールに割り込んで、特殊なプリエンプション着信音が流れます。現在のコールを中断して高優先度コールに応答する必要があります。

高優先度コールを受けているときに、以下を行ってもコールの優先度は変わりません。

- コールを保留にする
- コールを転送する
- コールを 3 者会議に追加する
- コール ピックアップを使用してコールに応答する

表 1 : **Multilevel Precedence and Preemption** のプライオリティ レベル

MLPP アイコン	優先度レベル
	レベル 1 : 優先度コール
	レベル 2 : 中優先度 (至急) コール
	レベル 3 : 高優先度 (緊急) コール
	レベル 4 : フラッシュ オーバーライド

MLPP アイコン	優先度レベル
	レベル 5 : エグゼクティブ オーバーライド

## 優先度コールの発信

優先度コールを発信するには、特殊なクレデンシャルを使ってサインインする必要があります。このクレデンシャルは3回まで入力することができ、正しく入力されなかった場合は通知されません。

### 手順

- 
- ステップ 1 ハンドセットを取り上げます。
  - ステップ 2 [優先レベル (PrecLevel) ]を押します。
  - ステップ 3 コールのプライオリティ レベルを選択します。
  - ステップ 4 (任意) 認証画面にクレデンシャルを入力します。
  - ステップ 5 接続先の番号を入力します。  
電話画面に優先レベル アイコンが表示され、優先リングバック トーンが流れます。
- 

## 優先度コールに応答する

通常よりも速い特殊な呼出音が流れたら、優先度コールが着信しています。


### 手順

優先コール用の特殊な呼出音が流れたら、オレンジ色に点滅しているセッション ボタンを押します。

## 別のコール中の優先度コールへの応答

コールに割り込む連続トーンが流れたら、自分または同僚が優先度コールを受信しています。すぐに電話を切って、より優先度の高いコールを想定される相手につなげてください。

### 手順

[リリース (Release) ]  を押すか、ハンドセットを置きます。  
コールが終了し、適切な電話機でより優先度の高いコールの呼出音が鳴ります。

## 複数の回線

電話番号を他の人と共有すると、1つの電話機で複数の回線を利用することができます。複数の回線を利用している場合は、使用可能なコール機能が増えます。

### プライマリ回線でのすべてのコールの表示

プライマリ回線上の現在のコールと不在着信のリストを表示することができます。

この機能は、複数の回線を使用しており、すべての回線上のすべてのコールを単一の画面で確認したい場合に使用します。特定の回線をフィルタリングすることもできます。

管理者がこの機能をセットアップします。

### 最も古いコールから応答

すべての電話回線で使用可能な最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰コールとパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を利用している場合は、通常、応答する着信コールの回線ボタンを押します。回線に関係なく最も古い着信コールに応答する場合は、[応答 (Answer)] を押します。

### 電話機ですべてのコールを表示

時系列（古いものから）順に並べられた、すべての電話回線のすべてのアクティブコールのリストを表示することができます。

リストは、すべてのコールがまとめて表示されるため、複数の回線を使用している場合や他のユーザと回線を共有している場合に便利です。

プライマリ回線上のアクティブコールを表示することもできます。これは、1つの画面にすべてのコールを表示したい場合に便利です。

#### 手順

[すべてのコール (All Calls)] を押すか、プライマリ回線のセッション ボタンを押します。


### 回線フィルタを使用して回線を選択した場合のコール通知の表示

高優先度の電話番号または回線が呼び出されたときに通知を受け取るように、電話機を設定することができます。たとえば、上級管理者の電話回線や顧客のヘルプラインなどです。このツールは、複数の電話回線で大量のコールを処理する場合に便利です。

管理者が電話機をどのように設定したかに応じて、1日の特定の時間帯に回線フィルタを使用できる場合があります。


## 回線フィルタの作成

### 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [設定 (Settings) ] > [コール通知 (Call notifications) ] > [フィルタの新規追加 (Add new filter) ] の順に選択します。  
カスタム フィルタの最大数は 20 です。すでに最大数のカスタム フィルタを作成している場合は、この手順を進める前に、フィルタを削除してください。
- ステップ 3** [選択 (Select) ] を押して、テキストを編集可能にします。
- ステップ 4** 新しいフィルタにデフォルト名を受け入れるか、新しい名前を入力します。
- ステップ 5** 新しいフィルタに追加する回線を選択します。  
使用可能なすべての回線がリストに表示されます。リストにない回線が必要な場合は、管理者にお問い合わせください。
- ステップ 6** [適用 (Apply) ] をクリックします。
- ステップ 7** フィルタを表示するには、[戻る (Back) ] ボタンを押します。
- 

## 回線フィルタの使用


### 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [設定 (Settings) ] > [コール通知 (Call notifications) ] を選択します。
- ステップ 3** 適用するフィルタを強調表示して、[選択 (Select) ] を押します。
- 

## 回線フィルタの変更

制御する回線フィルタを変更できます。管理者は、すべての通話フィルタと日次スケジュールフィルタを制御します。

## 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [設定 (Settings) ] > [コール通知 (Call notification) ] を選択します。
- ステップ 3** フィルタを強調表示して、[編集 (Edit) ] を押し、既存のフィルタを変更します。
- 

## 共有回線

1人以上の同僚と同じ電話番号を共有することができます。たとえば、重役補佐の場合は、サポートしている人物のコールを取り次ぐ必要があります。

電話番号を共有する場合は、その電話回線を他の回線と同様に使用できますが、共有回線の特性を理解しておく必要があります。

- 共有電話番号がその番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 同僚がコールに応答すると、あなたの電話機の共有回線ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。
- コールを保留にすると、回線ボタンが緑色に点灯し、セッションボタンが緑色に点滅します。ただし、同僚の回線ボタンは赤色に点灯し、セッションボタンは赤色に点滅します。

デフォルトで、誰かが共有回線番号を呼び出すと、割り当てられたデバイス（会社の電話や携帯電話など）のすべてが鳴動します。

### [共有回線 (Shared Line) ] のコールに参加する

自分または同僚が共有回線上のコールに参加できます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** 共有回線用の回線ボタンを押すか、回線を選択して [割り込み (Barge) ] を押します。  
 (注) 自分自身を共有回線上のコールに追加するには、[通話 (Calls) ] を押す必要があります。
- ステップ 2** (任意) [はい (Yes) ] を押して自分自身をコールに追加します。
- 

### 共有回線でのプライバシーの有効化

プライバシーを使用すると、回線を共有している他のユーザから自分のコール情報を隠すことができます。



[プライバシー (Privacy)] は、使用している電話機のすべての [共有回線 (Shared Line)] に適用されます。[共有回線 (Shared Line)] が複数存在し、[プライバシー (Privacy)] が有効になっている場合は、他のユーザはすべての [共有回線 (Shared Line)] を表示できません。

回線を共有している電話機で [プライバシー (Privacy)] 機能が有効になっていても、[共有回線 (Shared Line)] を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。

この機能が有効な場合は、電話スクリーンに視覚的な通知が表示されます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** この機能を有効にするには、[プライバシー (Privacy)] を押します。
- ステップ 2** この機能をオフにするには、[プライバシー (Privacy)] をもう一度押します。
- 

## モバイルコネクトを使用した通話

携帯電話を使用して、デスクの電話番号に関連付けられているコールを処理できます。このサービスはモバイルコネクトと呼ばれています。

セルフケアポータルで携帯電話を追加の電話機としてデスクの電話機に関連付けます。携帯電話に送信されるコールを制御することができます。

追加の電話機を有効にした場合：

- デスクの電話機と追加の電話機が同時にコールを受信します。
- デスクの電話機でコールに応答すると、追加の電話機で呼出音が停止して、回線が切断され、不在着信メッセージが表示されます。
- 1台の追加の電話機でコールに応答すると、それ以外の追加の電話機とデスクの電話機で呼出音が停止して回線が切断されます。他の追加の電話機に不在着信メッセージが表示されません。
- 1台の追加の電話機でコールに応答して、そのコールを回線を共有しているデスクの電話機に切り替えることができます。これを行う場合は、同じ回線を共有しているデスクの電話機に [リモートで使用 (Remote in Use)] というメッセージが表示されます。

#### 関連トピック

[セルフケアポータル](#)

## モバイルコネクトの有効化 (Enable Mobile Connect)

### 手順

- 
- ステップ 1 [モビリティ (Mobility)] を押して、リモート接続先の現在のステータス (有効または無効) を表示します。
  - ステップ 2 [選択 (Select)] を押して、ステータスを変更します。
- 

## デスクの電話機から携帯電話へのコールの移動

デスクの電話機から携帯電話にコールを移動することができます。コールはデスクの電話機上の回線に接続されたままであるため、その回線を他のコールに使用することはできません。回線はそのコールが終了するまで使用中のままです。

### はじめる前に

デスクの電話機のモバイルコネクトをイネーブルにする必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1 [モビリティ (Mobility)] を押します。
  - ステップ 2 [選択 (Select)] を押してコールを携帯電話に転送します。
  - ステップ 3 アクティブなコールに携帯電話で応答します。
- 

## 携帯電話からデスクの電話機へのコールの移動

携帯電話からデスクの電話機にコールを移動することができます。コールは携帯電話に接続されたままです。

### はじめる前に

デスクの電話機のモバイルコネクトを有効化する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- ステップ 2** 5～10 秒以内にデスクの電話機の回線を押して、デスクの電話機でコールを再開します。
- 

## 携帯電話からデスクの電話機へのコールの転送

携帯電話からデスクの電話機にコールを転送することができます。

### はじめる前に

デスクの電話機のモバイル コネクトをイネーブルにする必要があります。

管理者からアクセス コードを取得します。

### 手順

- 
- ステップ 1** 携帯電話で、ハンドオフ機能用のアクセス コードを入力します。
- ステップ 2** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- ステップ 3** デスクトップの電話機で 10 秒以内に [応答 (Answer)] を押して、デスクフォンで会話を開始します。
-

